

2026年8月4日

8月4日（火）第141回ほほえみ交流カフェが開催されました。一時期に比べると酷暑は和らいだとはいえ、まだまだ暑い中、いつもより少な目ですが、計26名の元気な顔が集いました。また7月に素敵なハモニカ演奏を次郎いただいたハモックス都筑の久高代表が今回は参加者として参加、お土産も頂戴しました。 お心遣い有難うございます。

シニア	12名
講師	3名
都筑地区センター	1名 桑田さん
葛が谷ケアプラザ	1名 片桐さん
葛が谷薬局	1名 八橋さん
スタッフ	8名
計	26名



さて、本日の講演は小規模多機能型居宅介護施設



“かもいけ”を運営されている笠松シゲさんの登壇です。などと紹介するまでもなく、シニアや福祉に関わる人では超有名人。荏田南バス停近くと牛久保の2か所で施設を運営されています。

この小規模多機能サービス、横浜市独自の制度だそうです。“かもいけ”は都筑区で最初の施設だそうです。“かもいけ”さんのサービスを噛み砕いて言うと“宿泊或いはデイサービスなど多様なサービスを臨機応変に提供な形態。急な宿泊需要や玄関先ではなく自宅居室からの送迎も可能。利用者の希望や予定変更にも都度対応可能なサービスです。料金は1ヶ月単位で介護度により設定されており、何度利用しても基本金額は変わらないそうです。現在の定員は デイが15名、宿泊は6名とのこと。

利用者にとっては、とても有難いシステムですが、“かもいけ”さんの魅力はそれだけではありません。むしろ別な理由で皆さんに長く親しまれているのです。

それは笠松さんのひととなり。“にっこり ほっこり”をキャッチフレーズに “1日1回は笑おう“を心がけ “家族と最後まで楽しく暮らせる“お手伝いを念頭に運営されています。季節に応じたイベント（節分、七夕、スイカ割、流しそうめん、敬老の日、X'mas など）では、利用者も参加して料理などを準備しています。脱線しますが笠松さんご自身料理がお得意です。筆者も社協の懇親会などで、手作りの鶏のから揚げや、フレンチフライなどをいつもいただいています。 本当においしいです。

現在のお悩みはスタッフの定着率の低さだそうです。その一因と思える低賃金。毎日のご心労は如何ほどかと思いますが、地域の高齢者福祉の維持向上にこれからもお力をお貸しください。 笠松さんお忙しい中、お出でいただき感謝です。

さて8月の誕生日は、全員スタッフの小泉代表、舟木さん、岡本さんの3名。意気軒高な3名さん、「ほほえみ交流カフェ」を宜しく願います。



さあ、お楽しみコーナーは、久しぶりに小幡さんと小池さんのマジックショーです。まずは、手品師の定番曲「オリブの首飾り」に乗って小幡さん。紐、カップ・・・、破った新聞紙が元通りになるマジックでは、ちょっとネタバレもご愛敬。スカーフがどんどん増える、浮遊するボールなどご披露いただきました。続いて小池さんが消える水、結んだはずのスカーフの結び目が取れる、色が変わるレコード盤、メニューから飛び出るハンバーガー、ティッシュペーパーが素麺に変身など、ご披露いただきました。小幡さん、小池さ是非また来てください。





お楽しみの後は歌川さんご指導の下で身体を動かします。首回りから始まり肩甲骨周囲、下半身は脚の後ろの筋肉を伸ばしで、スッキリしました。

最後は「ふれあい丘の街」を参加者全員で合唱してお開きです。次回は9月1日、葛が谷ケアプラザさんの講演です。お楽しみに